

## 施工業者様へのお願い

お使いになる人や財産への損害を未然に防止するため必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

**警告** 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容です。

**注意** 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

**注意** 事項は、状況により重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分して説明しています。

❗ この表示は、必ず守って実行していただく「強制」内容です。

⊘ この表示は、してはいけない「禁止」内容です。

### 警告

水道水の飲用基準に適合した水でご使用ください。  
水道水以外の水で病原菌等が混入しているとそれが原因で健康障害を生じるおそれがあります。

### 注意

❗ 取付け工事は水道法、建築基準法、その他の法令および地方自治体の法令、規則など各種法令に則って行ってください。

❗ 使用可能水圧の範囲で設置してください。

⊘ この浄水器は寒冷地仕様ではありません。凍結の恐れのある地域ではお使いにならないでください。

⊘ 床面が防水処理されていないところには設置しないでください。

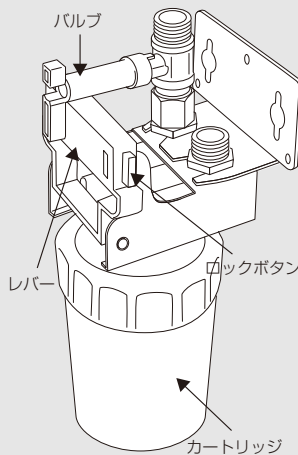
⊘ 浄水器の給水側には必ず専用の止水栓を取り付けてください。

## お客様へのお願い

この施工説明書は、施工業者を対象にしたものです。お客様ご自身での据付けはしないでください。

## セット内容

●ビス…3本



## 仕様

配管接続口径：G1/2  
使用可能水圧：0.07~0.35MPa  
耐圧性能：1.75MPa  
(静止圧1分間適合)

## 施工業者様で ご用意いただく部品

●フレキシブルチューブ…2本  
●浄水器専用給水栓…1台  
●浄水器用止水栓…1個  
●片ナット付チーズ…1個

◆セット内容以外の施工部品は、施工業者様でご用意ください。  
※フレキシ配管は、必ず日本水道協会型式登録品をご使用ください。

### 注意

#### 水圧点検

- ❗ 水道工事に取掛かる前に必ず水道圧を測定してください。
- ❗ 水道圧が0.35MPa以上のときは、必ず水用減圧弁を取り付けてください。
- ❗ 水道圧が0.35MPa以上で浄水器を設置すると、ウォーターハンマーにより接続部や浄水器からの水漏れの原因になります。
- ❗ 浄水器は運転時は下表の重量になりますので壁などに取付ける場合は十分耐えられることを確認してください。

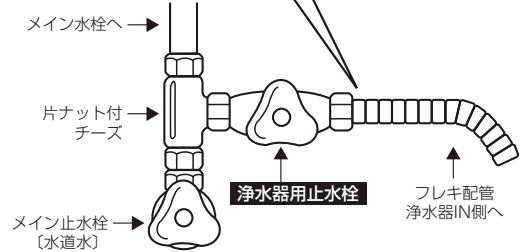
満水時重量 2.0kg

# 施工手順

## 1 水道工事

給水栓より片ナット付チーズで分岐し浄水器用止水栓を取り付けてください。

浄水器用止水栓の位置、浄水器(IN)側への給水接続用フレキシ配管の長さは、カートリッジ交換等のメンテナンスのしやすさを考慮して設置ください。(約1m以内)フレキシ配管が長い場合、水道水の流りに支障をきたさない範囲で丸めて使用してください。金属性フレキシ配管の折損は特にご注意ください。

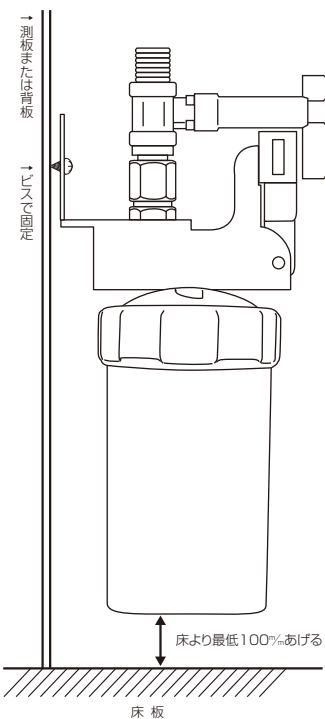


浄水器用止水栓は、カートリッジ交換などのアフターメンテナンスに必要です。浄水器用止水栓を専用に取り付けて、給水取り出しを行ってください。

## 2 浄水器の取り付け方

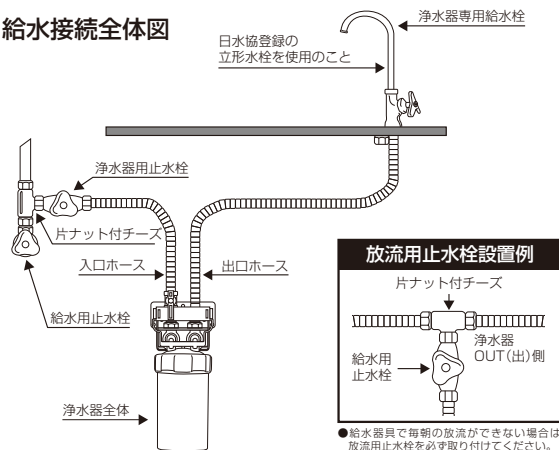
浄水器の取り付け位置は、浄水器用止水栓またはその他の給水器具への接続距離、メンテナンス性のよさを考慮して、下記のように取り付けてください。

### 背面につける場合



## 3 給水接続方法

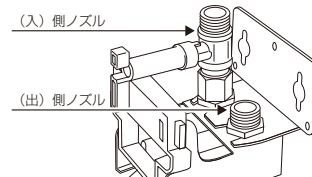
### 給水接続全体図



❗ OUT(出)・IN(入)の接続を間違わないでください。

1 浄水器(出)側ノズルと、浄水器専用給水栓またはその他の給水器具をフレキシ配管で接続してください。

2 浄水器用止水栓と、もう一方の浄水器(入)側ノズルをフレキシ配管で接続してください。



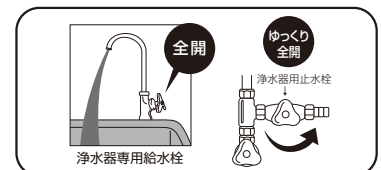
❗ 配管作業時は接続部にパッキンが取り付けられていることを必ず確認してください。

- 浄水器と給水器具は、1対1としてください。
- 浄水器から給水器具までの配管は1m以内になるようにしてください。
- 浄水器を浄水器専用止水栓以外の給水器具に取り付けるときは、自動的に毎朝放流するような機構の設置をおすすめします。

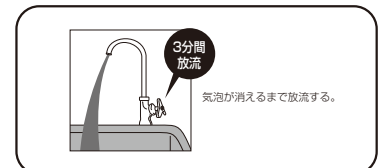
⊘ 浄水器以降の配管は、土・床・壁等に埋設しないでください。

## 4 浄水器への通水と水漏れチェック

1 浄水器専用給水栓を「全開」にし、浄水器用止水栓をゆっくりと全開にする。



2 この状態のまま、水が清澄になるまで、約3分間放流してください。



3 放流が終われば、浄水器専用給水栓を「閉」にし、浄水器及び配管各部より水漏れがないかを確認してください。



※「放流用止水栓」を取り付けの場合、通水と水漏れチェックは「放流用止水栓」で行ってください。

浄水器より水漏れがある場合は、クリタック(株)までお問い合わせのうえ、適切な処置を施してください。

※イラストは実物をもとに描きおこしたものです。ラベルのデザイン等、一部変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

据付日 年 月 日

施工後のチェック

- 1 水道圧が0.35MPa以下になっていますか？
- 2 同梱部品以外のものは使われていませんか？
- 3 水漏れはありませんか？

引き渡し

1 設置後、長時間ご使用されないときは、取扱説明書にもとづいて浄水器用止水栓を閉じておいてください。

2 取扱説明書にもとづいてお客様に次のことを説明してください。

- 浄水器の使い方・安全上のご注意について十分説明してください。
- 当社によるカートリッジの交換をおすすめください。
- この施工説明書をご依頼主にお渡しください。

発売元

**KURITA**  
クリタック株式会社

〒164-0012 東京都中野区本町2丁目46番1号  
TEL 03-5308-1302 FAX 03-3379-5357